

五稜化薬株式会社

生きるを照らす光がある。



- ・ 設立：2010年7月
- ・ 代表者：代表取締役CEO
丸山健一

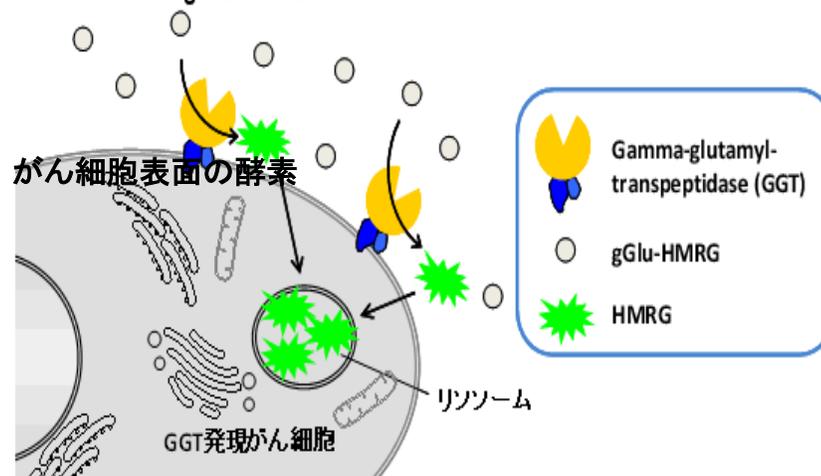
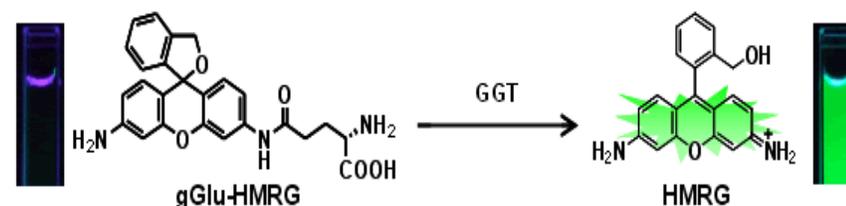
・ 事業概要
手術中に体内または体外においてがん等のヒト組織に噴霧し、その病変部位のみを光らせ、可視化することにより、より確度の高い術中診断を可能とするナビゲーションドラッグ (ND) の事業化を進めています。

・ 今後の計画
開発中NDパイプラインは次のとおりです

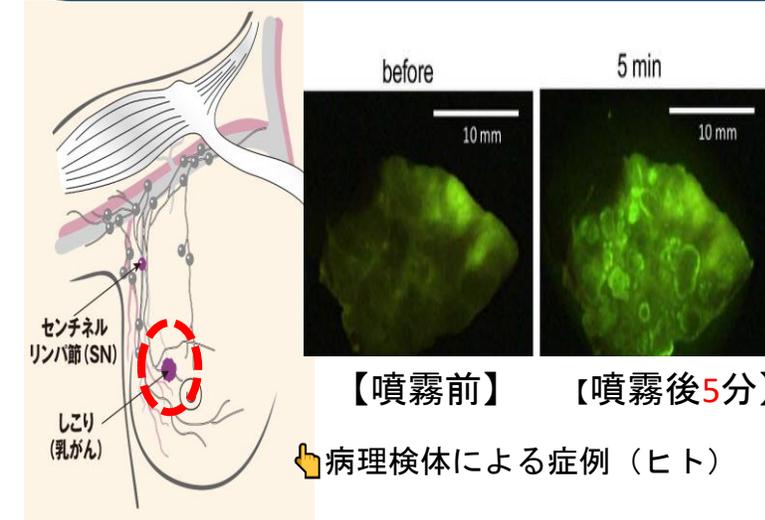
- ①乳がん (23年3月薬事承認申請、審査中)
- ②食道がん (臨床P2a)
- ③膵液漏 (非臨床)
- ④緑内障 (非臨床 - 臨床準備中)
- ⑤脳腫瘍 (非臨床)

がんの見える化～メカニズム～

がん細胞特異的酵素が同定され、それに合う基質と母核を組み合わせることで様々ながん種に対応するNDを創出できる (プラットフォーム技術)



乳がんND(術中迅速組織診断) への活用



病理検体による症例 (ヒト)

日本では乳房温存手術が約半分を占めるが、再手術率は25%。主因の一つは病理診断の難しさで、がん取残しによる再発は術後の抗がん剤治療方針に大きく影響。乳がんNDは、術中迅速診断に一度により多くの標本提供と、より確度の高い術中診断や病理医の負担軽減に貢献、また、病理医不在施設での術中断端診断が可能に。